## 第 63 回プログラミング・シンポジウムの開催にあたって

今年も、冬のプログラミング・シンポジウムを無事に開催することができました。COVID-19 は相変わらず一進一退といった状況ではありますが、こうしてまたプロシンの回を重ねられたことにまずは安堵しています。第 63 回という数字は、我々にとっては非常に馴染み深い、区切りとなる数字です。ビットが全てたまり、新たな桁上がりに向かってぐっと力をためている、そんな印象を受ける数字です。この、夜明け前のような 63 回を存分に楽しみ、来年へと繋いでいけたら、と願う次第です。この場を成り立たせていただいた、ご発表、ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

本年は、従前の合宿形式による開催もある程度現実味を持って検討していたのですが、まだ収束までにはもう少し、という状況で、昨年に引き続きオンライン形式を取ることに決めました。それでも結果的に 10 本の論文・口頭・ポスター発表投稿をいただき、1 月 7 日 (金) 午後から 8 日 (土) 夕方までの、従前規模に近い 2 日間開催となりました。リモートであってもこの場に「集い」、今年の研究を勢いづける、スタートダッシュの場としていきましょう。

昨年の夏のプログラミング・シンポジウムは、合宿形式が難しいこともあり残念ながら一度スキップとさせていただきました。今後皆様が参加できる見通しが立てば再開を検討いたしますので、開催形式やテーマなど、アンケートでご意見をお寄せいただければ幸いです。

第 54 回情報科学若手の会は、2021 年 9 月 26 日 (日) に、前回に引き続きオンラインで開催されました。通常発表 2 件、招待講演 2 件が事前に映像収録され、Scrapbox を使った事前のコメントのやり取りを済ませたうえで、会議当日にリアルタイムの議論・交流が行われるという、オンライン開催であることの強みを引き出そうとする工夫が詰まった会議となりました。企画に尽力いただいた、幹事の武田真之さん、久下柾さん、黒崎優太さん、高橋真奈茄さん、田中京介さん、和田佳大さん、どうもありがとうございました。引き続きよろしくお願いします。

幹事団の体制について、昨年度と同じメンバーで運営を続けることができました。現在の幹事は、大島聡史さん、新屋良磨さん、三廻部大さん、八木原勇太さん、渡辺勇士さんです。

なお、今回のシンポジウムは、株式会社フィックスターズ様からスポンサーとしてご支援いただいております。この場を借りて御礼申し上げます。

プログラミング・シンポジウム委員会
幹事長　横山　大作 (明治大学)